

子どもたちの笑顔や成長する姿に やりがいを感じています

毎年、水辺の安全教室では、ライフジャケットの重要性を体験していただいています。ライフジャケットを着ていれば、安全に楽しく川や湖でも遊ぶことができます。危険だからといって水辺から遠ざかるのではなく、子どもたち自身が「自分の命は自分で守る」という意識と技能を身につけることができます。よう指導しています。

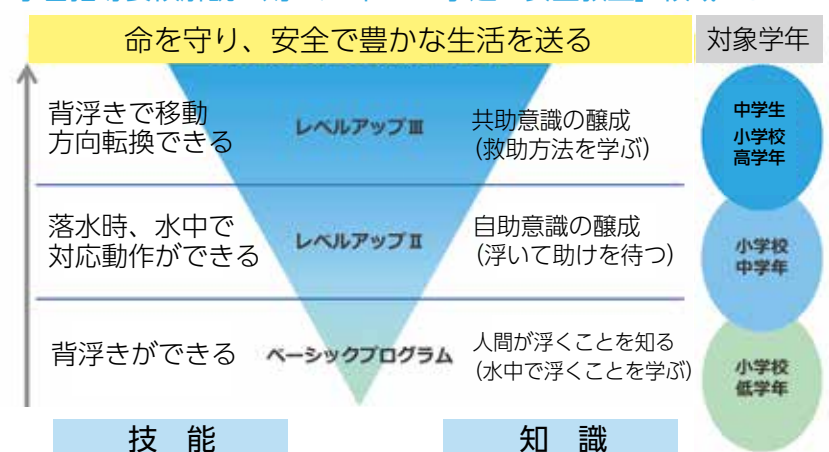
実際に、児童らはライフジャケットを着て、浮遊体験をします。水中で溺れたとき、どうすれば助かるかを身をもって体験することができます。

ライフジャケットの大切さ



B&G海洋センター
中村 慎 さん

学習指導要領解説に則した「B&G水辺の安全教室」領域とねらい



また、学年に応じて指導する内容を変えています。高学年には、接岸湖の湖面で指導することとで、実際の自然環境のもと、より緊張感を持って学ぶことができます。水辺での命を守る行動につながるのです。

児童らの成長がやりがい

私としても、児童らの明るい声を聞きながらの教室は、毎

年の楽しみでもあります。去年よりも上手にカヌーを乗りこなす姿を見ると、すごくうれしくて、やりがいにつながっています。

これから、水難事故が多発する季節を迎え、毎年全国で悲惨な事故のニュースが後を絶ちません。

今後も、児童らが安全に楽しく水と親しめるように、分かりやすく指導をしていきたいと思っています。

～学校の先生に聞きました～



中央小学校 教諭
宮島 空見 さん

すてきな笑顔が見られました

2年生にとっては2回目のカヌー教室ということもあり、みんな上手に乗りこなしていて驚きました。なにより、子どもたちの笑顔が本当にすてきでした。

また、ライフジャケットを着ての浮遊体験は、水辺での事故を避けるために必要な経験だと思います。子どもたちには、いざというとき自分の命を守るための知識を、身につけて欲しいと思います。

「B & G水辺の安全教室」紙芝居動画を視聴できます

お子さまと一緒に、動画で水辺の安全を学ぶことができます



公益財団法人
ブルーシー・アンド・グリーンランド財団



2020年、夏だ！ プールだ！ カヌー教室だ！

水辺の安全教室も兼ねた「カヌー教室」開催

毎年、B&G海洋センターの職員が、町内の小中学生を対象に開催している「カヌー教室」。10年以上続く町独自の取り組みが、今年は新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれました。それでもプールには、子どもたちの無邪気ですてきな笑顔がありました。



7月2日、梅雨の晴れ間となったこの日、町内の気温は30度を超えました。

強く照りつける日差しの中、中央小学校の1、3年生は、職員からカヌーの乗り方やライフジャケット着用の大切さを学びました。

1年生の児童は、カヌー初体験。少し緊張気味の様子で、恐る恐るカヌーに乗り込み、ぎこちなくパドルをこぎ始めました。

「右、左、右、左…、難しいけど楽しい！」と少しずつパドルの扱いにも慣れて、プールの中を元氣いっぱい乗りこなす姿を見せてくれました。

そんな児童らを指導するB&G職員に、水辺の安全教室について聞きました。